



食べ物を無駄にすることは水を無駄にすることも



国際水会議が開かれたストックホルムから食料と水についての報告。= I P S

「水の生産性を上げ廃棄食料を削減すれば貧困に苦しむ人の食事を改善し、増大する人口に対しても食料を確保できる」とストックホルム国際水会議でランドクヴィスト教授が発表した。

世界で食料の生産に使われている水の半分が浪費あるいは廃棄されている可能性がある、この防止が必要だという。

世界の高まる食糧危機は、食べ物の廃棄と過剰摂取によって悪化している。

ストックホルム国際水協会(SIWI)のジャン・ランドクヴィスト教授は「世界で日々飢餓に苦しむ人は8億5,000万人を数えるが、肥満は12億人以上のぼろ」と指摘。

「水の生産性を向上し、廃棄される食料を

削減することで、貧困に苦しむ人の食事を改善し、増大する人口に対しても食料を確保できるようにする」と、8月21日、ストックホルム国際水会議の際に記者団に語った。

SIWIが国連食糧農業機関(FAO)と国際水管理研究所(IWMI)と共同で作成した報告書『Saving Water』(節水)によれば、米国では家庭だけで食品の30%もが捨てられている。

報告書は、食べ物を無駄にすることは水を無駄にすることもであると論じている。食料の栽培と加工には大量の水が使われているからだ。

食品や消費財の生産・輸出入に要した水の量を推計する「バーチャルウォーター(仮想水)」の概念の発案者で、今年のストックホルム水大賞を受賞したロンドンのキングス・カレッジのジョン・アンソニー・アラ教授は、人間は飲料水や入浴にだけでなく食料品を消費する時も水を消費していると説く。

WMIの研究員シャロット・デ・フレイチュア氏は、世界で食料の生産に使われている水の半分が浪費あるいは廃棄されている可能性があるとし、「こうした浪費を防止し、水の生産性を向上すれば、農民、企業、生態系そして飢えに苦しむ世界の人々みなにとって利益のあるワイン・ワインの機会がもたらされる」と訴える。

また、世界自然保護基金(WWF)も、英国の食料および繊維の消費が世界の水源に及ぼす影響を調査した報告書『Cos Water Footprint』(英国のウォーターフットプリント)を発表している。(ウォーターフットプリントとは、食料等の輸入に伴って輸出で実際に消費された水資源量のこと。)

【ストックホルム IPS タリフ・デー】
【8月21日】



業務停止命令：お年寄りに強引に浄水器を訪問販売

お年寄りに強引な浄水器の訪問販売を繰り返していたなどとして都は20日、豊島区東池袋1の「コレクト」(高木淳社長)に対し、特定商取引法に基づく業務停止命令を出した。

東京都消費生活部によると、同社の従業員らは浄水器の販売目的を隠してお年寄りの自宅などを訪問。「こんな浄水器を使っていたらがんになる」とうそを言って勧誘、勝手に浄水器を取り付け、契約していた。

都には06〜08年度で計97件の相談が寄せられ、平均契約額は57万4000円、最高は175万円。88歳に契約させたケースもあった。

高木社長ら幹部2人は「アルカリイオン整水器」の訪問販売を巡って経済産業省から06年10月に業務停止命令を受けたサンライズコーポレーション(大阪市北区)の元従業員という。



有機農業への道のり

ネギ23回、玉ネギ11回、トマト28回、キウリ28回、ナス48回、これは埼玉県資料から抜粋した数値です。何の回数だと思いますか？

答えは、作物を作るときの農薬の使用回数です。調べてみると収穫時期や都道府県によって、その回数には違いがあります。埼玉県の回数も、作物によっては、他県より少ないものがあります。

農薬は殺菌、殺虫、除草の目的で使用されます。ネギの23回を例に説明すると、収穫までに殺菌剤が10回、殺虫剤が12回、除草剤が1回くらいの割合で使用されているという意味です。

これまで農薬の残留基準とADI。また、農薬を使用せざるをえない農家の事情などを紹介してきました。理解したつもりでも実際の使用回数を見るとやはり気になるのではないのでしょうか。

1970年代、農家の中にもいち早く、農薬や化学肥料にたよらない作物づくりに取り組む人達が現れました。1971年には日本有機農業研究会が発足しています。

消費者意識の高まりとともに有機農産物が支持されるようになると、無農薬栽培、無農薬有機栽培、減農薬栽培、減農薬有機栽培などと表示した商品が店頭に並ぶようになってきました。

しかし、有機と無農薬・無化学肥料の違いや低農薬・低化学肥料の場合ほどのくらい減量しているのかなど、消費者にはわかりづらかったのです。



大豆畑の除草作業。機械を使っての除草剤散布。



除草剤を使った水田の畦（奥）と使用しない畦（手前左）

【JAS規格（日本農林規格）】

そこで、2001年のJAS法の改正で有機農産物について次のように定義しました。

「3年間以上、農薬や化学肥料をまったく使わない農場で栽培したもの、さらに、その生産から最終包装に至るまで、有機性が侵されることのないよう厳しく第三者認定機関で検査されたもの」

3年間かけて農薬や化学肥料の影響を排除して、微生物やミミズなどの自然の作用で理想の土づくりに目指そうというのです。（2年目の作物には転換期間中有機農産物の表示が認められます。）

この改正により、有機農産物やその加工品については、この規格に適合しなければ「有機栽培」や「オーガニック」という表示をしてはいけないことになりました。

認定を受けずに有機マークを貼付した場合には、1年以下の懲役または100万円以下の罰金を科すことに決まりました。また、貼付していない農産物に有機の表示をした場合、表示の除去や販売禁止を命じられます。もし、命令に従わなかった場合は50万円以下の罰金です。

有機の表示のある農産物には必ず写真上の有機JASマークが付いています。申請書の提出は煩雑ですし、認証の維持には費用もかかります。また、認定後も記録の記帳が義務づけられ、毎年認定機関の現地監査と記帳監査があります。

国内の有機農家の数はここ数年、0.1%くらいで横ばい状態です。これは有機農業がいかにもむずかしいかをあらわしています。個人の農家では申請と維持だけでも大変そうですが、ほかにいくつかの要因があります。【次号に続く】

名水百選
018

尚仁沢湧水

栃木県 / 塩谷郡 塩谷町

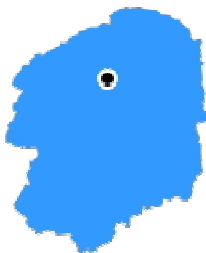
源泉のある高原山は、180万年前から1万年前の中頃にできた那須火山帯で、南側から眺めると富士山に似た長い裾野が印象的な山です。

山岳仏教が盛んな奈良時代には、聖地であった町のシンボル高原山に信者が登拝の折、この尚仁沢湧水で身体を清めるために必ず立ち寄った所だといわれています。

この名水は平成9年度の全国からおいしい水を集めて行われた「ミスみずフェスタ」において堂々一位に輝きました。

【地元取り組み】

遊歩道の整備や地元の「高原山の自然を守る会」等の協力で保全活動を推進。



交通

／ JR 東北本線「矢板駅」 バス新高徳駅行き塩谷町役場前下車 タクシー20分
車
／ 東北自動車道矢板 IC 車 25分

名水百選
019

雄川堰

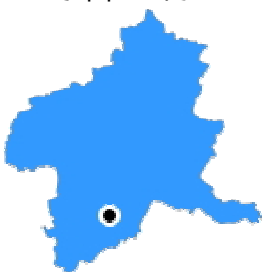
群馬県 / 甘楽郡 甘楽町

織田信長の二男、信雄が大坂夏の陣の功績により、元和元年（西暦1615年）7月23日に大和国松山（奈良県）三万石と、上州小幡二万石を家督相続させた後、織田宗家として小幡に陣屋を築いたときに整備したものです。

織田氏及びその後を承継した松平氏は、御用水奉行を置き、水の大切さを説き、雄川堰の管理に力を入れてきました。堰沿いには、56本のソメイヨシノの並木があり、城下町のシンボルとなっています。

【地元取り組み】

地元住民により毎週水路内のゴミ等の回収活動が行われるほか、用水組合が年3回水を止めて清掃作業を行っています。



交通 / JR 高崎線「高崎駅」 = (乗り換え) 上信線「上州福島駅」下車 徒歩 20分

車 / 上信越自動車道富岡 IC 主要地方道富岡・神流線を甘楽町方面へ南上(約10分)

名水百選
020

箱島湧水

群馬県 / 吾妻郡 東吾妻村

昔、原町に住む「円光上人」のもとへ、怨敵に追われた木部宮内少輔の「北の方」(円光上人の母)が突然訪れました。

円光上人は母が追われている身とは知らず、何気なく別れを告げましたが、「北の方」は「息子に会えてもう思い残すことはない」と榛名湖で、侍女と入水して果ててしまいました。

その後、榛名湖に棲む大蛇は「北の方」の化身という話生まれ、供養のために、「北の方」の位牌を榛名湖へ沈めたところ、その位牌がここの箱島の湧水から出てきたといわれています。今でも箱島不動尊に、その位牌が納められています。

【地元取り組み】

地元住民により保全活動が行われています。



交通 / JR 吾妻線「小野上駅」下車 徒歩約30分

「名水百選」は選定から23年以上を経過しているため、周辺の状況が変化している場合があります。また、飲用に適することを保証するものではありません。6月に「平成の名水百選」が発表されています。

味の違いはわからない？ ミネラルウォーター選びは価格重視ノアイシエア調べ

ネットマーケティングのアイシエアは9日、同社が行った「ミネラルウォーターに関する意識調査」の結果を発表した。

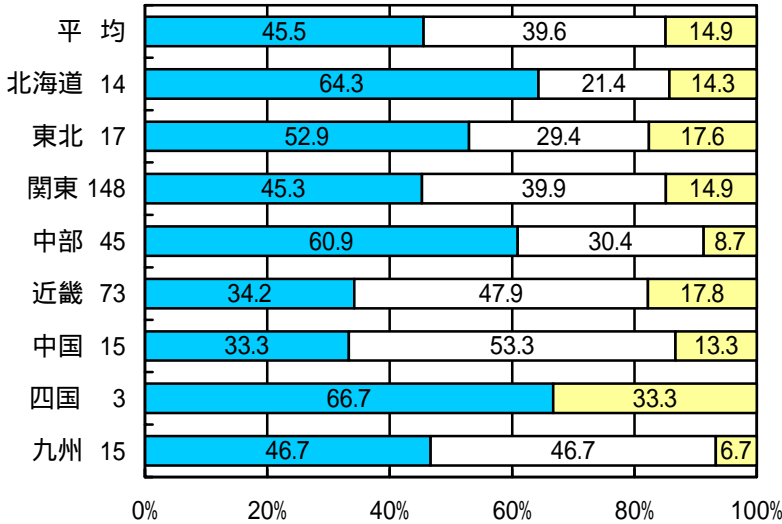
調査は8月末から9月初めにかけてインターネットによって行われ、336名の男女が回答した。男女比は、ほぼ同数。

まず「普段水道水を飲むか」を聞いたところ、45.5%が「飲む」と回答。一方「飲まない」39.6%と「極力飲まないようにしている」14.9%を合わせた「飲まない派は過半数を超える」54.5%になり、飲む派はやや劣勢。とはいえ、水道水は予想以上に健闘しているともいえる。

あなたは普段、水道水を飲みますか？

アイシエア調べ <http://release.center.jp/2008/09/0901.html>

■飲む □飲まない □極力飲まないようにしている



居住地域別に水道水の飲用率を見ると、最も高いのは64.3%の北海道。以下、中部60.9%、東北52.9%、九州46.7%と続き、関東は45.3%と全体の平均値とほぼ同じ割合だった。

これらの結果から、水源環境が良い地域ほど水道水を飲む人が多いという傾向をはっきりと見て取ることができる。

一方、全国の平均値を大きく下回ったのは近畿34.2%と中国33.3%の2地域。実に3人に1人しか水道水を飲まないという不人気ぶりで、地域による差が明確に現れる結果となった。

ミネラルウォーターを購入して飲むかとの問いで最も多かったのは「たまに飲む」との答え49.4%。「頻繁に飲む」18.2%と合わせると3人に2人は飲んでいる計算になる。「飲まない」と答えたのは32.4%だった。

水道水の飲用率が比較的低い関東・近畿・中国の各地方に限ると、7割以上が「ミネラルウォーターを飲む」と回答。

反対にミネラルウォーターを「頻繁に飲む」人の59%は水道水を飲まないと答えており、飲料水において「ミネラルウォーターか水道水か」という二者択一の傾向が広がりつつあることをうかがわせた。

ミネラルウォーターを「飲む」と答えた人に購入の理由を聞くと、「安心して飲めるから」が27.3%でトップ。次いで「おいしいから」23.3%、「水道水がまずいから」16.3%と続い

た。また「その他」を挙げた人のほとんどは「外出先で飲む」と回答。カバンやバッグの中にミネラルウォーターなどのペットボトルを入れている人が少なくない昨今の現状を反映している。

ミネラルウォーターを購入する際の選ぶポイントについての問いには4割の人が「価格」と回答し、「味」17.6%や「硬度」11.5%を大きく引き離れた。

これは、実際のところミネラルウォーターの味の違いをよくわかっておらず、水道水より安全でおいしそうなイメージのある水をできるだけ安く買えさえすれば良いとの消費者心理を反映したものと見られる。

一方、「メーカー」と「ブランド」のふたつの回答を合わせると17.6%に達することから、銘柄にこだわって購入する人も一定の割合で存在することが確かめられた。

【2008年9月9日 マイコミジャーナル】

【編集部】これは、ミネラルウォーターのアンケート資料です。対象人数が少ないので、大雑把な印象ですが、それでも、浄水器の普及率に関連した数値が見えてきます。

浄水器の普及率は05年の29.1%から07年では5ポイント増えて、34%になっています。

「水道水を飲まない」の平均は39.6%。

おそらく、08年の普及率調査では、この数値にかなり近づいていることが予想されます。

「極力飲まないようにしている」は平均14.9%。この人たちも、飲用水には何かの工夫をしているはず。飲まない「極力飲まないようにしている」を合計すると54.5%。いろいろな意味で、水への関心が、高まっていることを実感させる数値です。